昭和49年3月3日　　戦旗社　東京都千代田区三崎町2-[illegible]
昭和40年3月8日第三種郵便物認可（毎週一回金曜日発行）

1970年3月13日　第215号

3月13日
週刊
第215号
編集発行人　奥島　弟
一部　20円
購読料　20円500円（年共）

戦旗

戦旗社
東京都千代田区三崎町2-[illegible]
(03)[illegible]
東京都文京区[illegible]
市電3-7-16
郵便番号113-[illegible]
東京都[illegible]
[illegible]
名古屋支店　501（782）[illegible]

☆反帝闘争を
プロレタリア日本革命へ、
☆プロレタリア世界革命の旗の下
共産主義者同盟に結集せよ！
共産主義者同盟

3月18日　全関西統一行動
（大手前公園　午後5時）
19～22日　社学同全国合宿
22日　信太山基地撤去闘争
（信太駅　1時結集）
25日　反帝戦線全関西結成大会

4・28安保　沖縄闘争へ全戦線が胎動！

七〇年代武装闘争へ意志統一

2・28～3・1全国青年労働者討論集会で

全国青年労働者討論集会（第10分科会）

二・二六闘争総括討論集会は、二・二六の日、東京・日比谷公会堂で、二・二六闘争の総括と、安保・沖縄・基地闘争を中心とする全国反戦労働者討論集会とを、二日間にわたって開催した。

二・二六安保闘争は、日本帝国主義の戦争政策の中軸をなす、安保条約の自動延長を阻止しようとして、日本共産党・社会党・総評・中核派・革マル派・社学同・社青同・全学連・全共闘・ML・ML同盟・ML青年同盟・ML学生同盟・ML労働者同盟・ML学生同盟・ML青年同盟・ML労働者同盟・ML学生同盟・ML青年同盟・ML労働者同盟・ML学生同盟・ML青年

革命党の飛躍と赤軍派解体に向けて（下）

党―軍なき戦闘集団―赤軍派の解体を党の共産主義運動の組織化を通して更に早めよ

社学同の組織総括と飛躍の課題（5）

昨秋闘争総括のまとめにかえて

60年10月闘争の敗北の中で、第二次ブント（革命的マルクス主義者同盟）は、その内部に、党と軍の二重の性格を持つ、党内党、軍内軍の存在を許すことになった。党内党、軍内軍の存在は、党と軍の二重の性格を持つ、党内党、軍内軍の存在は、党と軍の二重の性格を持つ、党内党、軍内軍の存在は、党と軍の二重の性格を持つ、